

**就活生・採用担当者に聞いた「就活ブラック企業」調査（2014年4月発行）**

株式会社ディスコ（本社：東京都文京区、代表取締役社長：夏井丈俊）は、ブラック企業の問題がクローズアップされている中、就職活動中の大学生および企業の採用担当者を対象に「ブラック企業についての考え」に関するアンケートを実施し、集計データの比較を行いました。

**[1] 自社をブラック企業だと思う学生の存在について／企業調査**

企業の採用担当者に「自社をブラック企業だと思う就活生」がいると思うかを尋ねたところ、「大勢いると思う」が1.9%、「大勢ではないが一定数はいると思う」が20.6%、「ほとんどいない（ごく一部）」が38.4%でした。（図表1）

**[2] 「ブラック企業」だと思う条件／企業調査・学生調査**

『ブラック企業』だと思う条件について尋ねたところ、採用担当者・学生とも「残業代が支払われない」がトップでした。一方、全選択肢中で最も両者の差が大きかったのは「給与金額が低すぎる」で採用担当者24.2%に対し、学生では48.3%でした。（図表2）

**[3] 「ブラック企業」になると思う目安／企業調査・学生調査**

具体的にどの程度だったら『ブラック企業』になると思うのか、「離職率」「給与」「残業時間」「有休取得日数」の4項目について、学生・採用担当者の双方に目安となる数字を尋ねました。

- ・「大卒新卒者の入社後3年の離職率」が何割を超えたらブラック企業になると思うか？（図表3）  
採用担当者の回答で最も多かったのは「5割超」でした。一方、学生では「3割超」という回答が最も多く、基準がより厳しめでした。
- ・ブラック企業となる目安の「30歳の大卒総合職の年収」は？（図表4）  
ボリュームゾーンはともに「300～400万円未満」で人事担当者48.0%、学生39.0%でした。
- ・「1カ月の残業時間」が何時間を超えたらブラック企業になると思うか？（図表5）  
採用担当者で最も多いのは「100～120時間未満」で、学生では「40～60時間未満」が最多でした。
- ・「年間の有給休暇取得日数」について目安？（図表6）  
採用担当者では「0～5日未満」が最も多く、学生では「5～10日未満」が最多でした。

**[4] ブラック企業だと思う企業への就活予定／学生調査**

自分が「ブラック企業」だと思う企業の就職試験を受けるかどうかを学生に尋ねたところ、「受験しない」は62.5%、「場合によっては受験する」は32.3%でした。採用担当者は、「曖昧な情報が交錯する現状への懸念」とともに「自分の目でしっかりと企業を見てほしい」という意見が多く寄せられました。（図表7）

## 《調査概要》

## ■企業調査 「採用活動に関する企業調査」

2014年2月調査		
調査時期	2014年2月17日～26日	
回答社数	全国の主要企業 1,006社	
《従業員数》		
～299人	300～999人	1000人以上
420社	375社	211社

## ■学生調査 「日経就職ナビ 学生モニター調査」

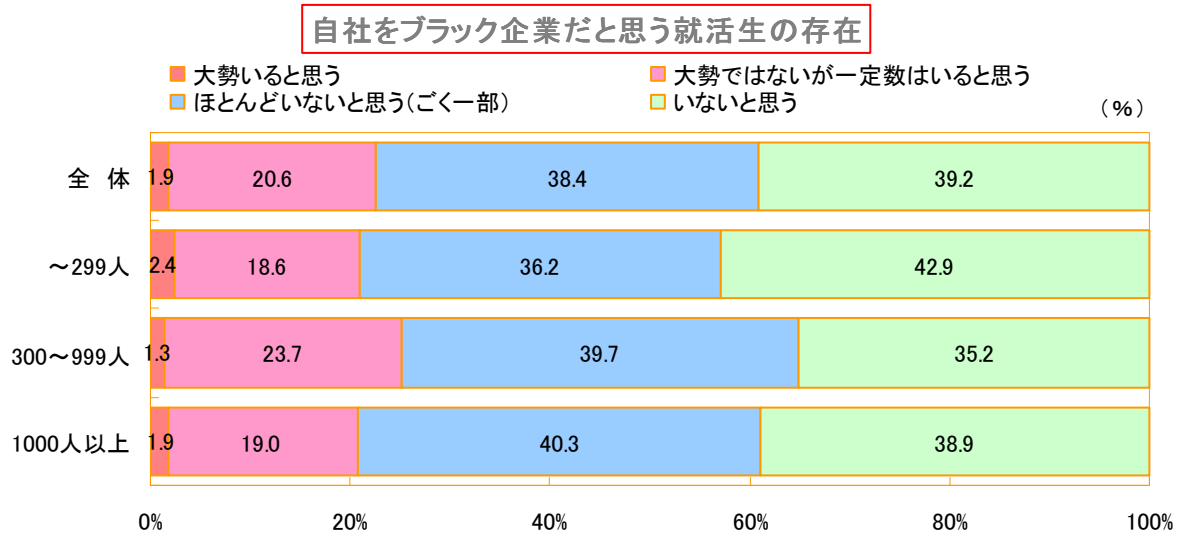
調査対象	日経就職ナビ 2015 就職活動モニター
調査時期	2014年1月1日～7日
回答人数	1,650人（文系男子536人、文系女子494人、理系男子409人、理系女子211人）

調査方法：インターネット調査法 調査機関：株式会社ディスコ キャリアリサーチ

<本リリースに関するお問合せ先> 株式会社ディスコ 社長室 広報担当

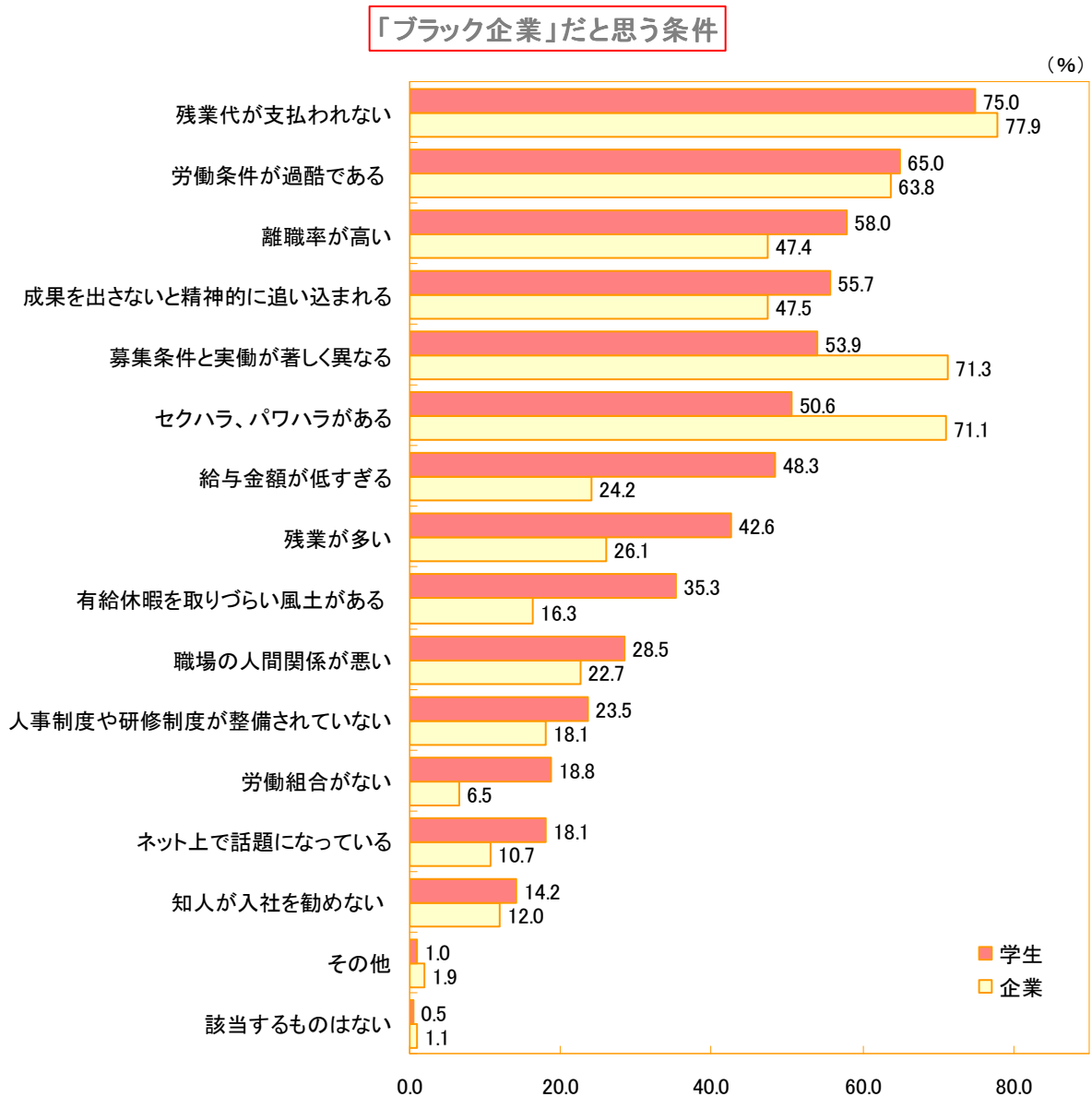
Tel：03-4316-5500 Email：[pr@disc.co.jp](mailto:pr@disc.co.jp) コーポレートサイト URL：<http://www.disc.co.jp/>

図表1



資料出所：株式会社ディスコ「採用活動に関する企業調査」(2014年2月調査)

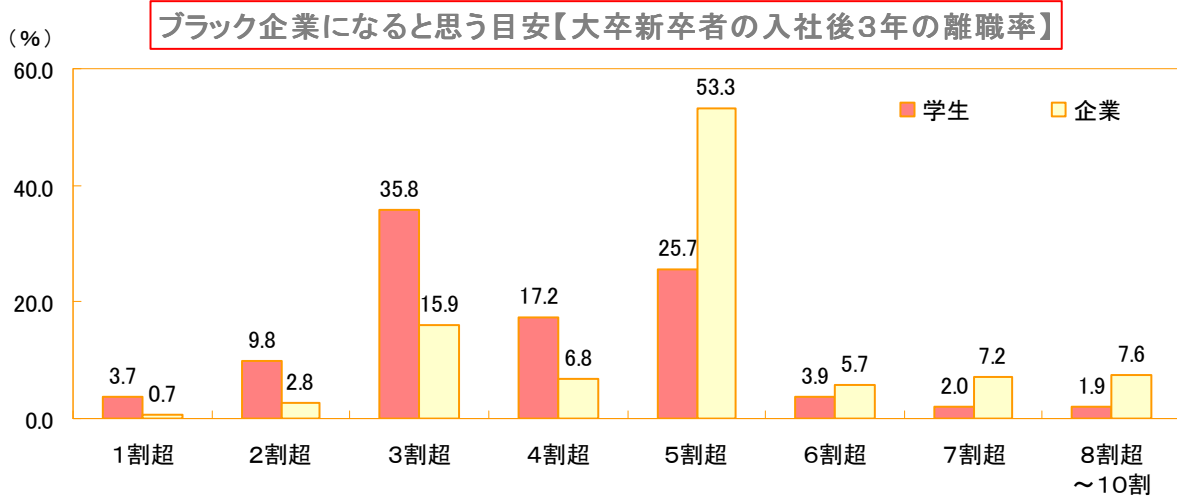
図表2



資料出所：株式会社ディスコ「採用活動に関する企業調査」(2014年2月調査)

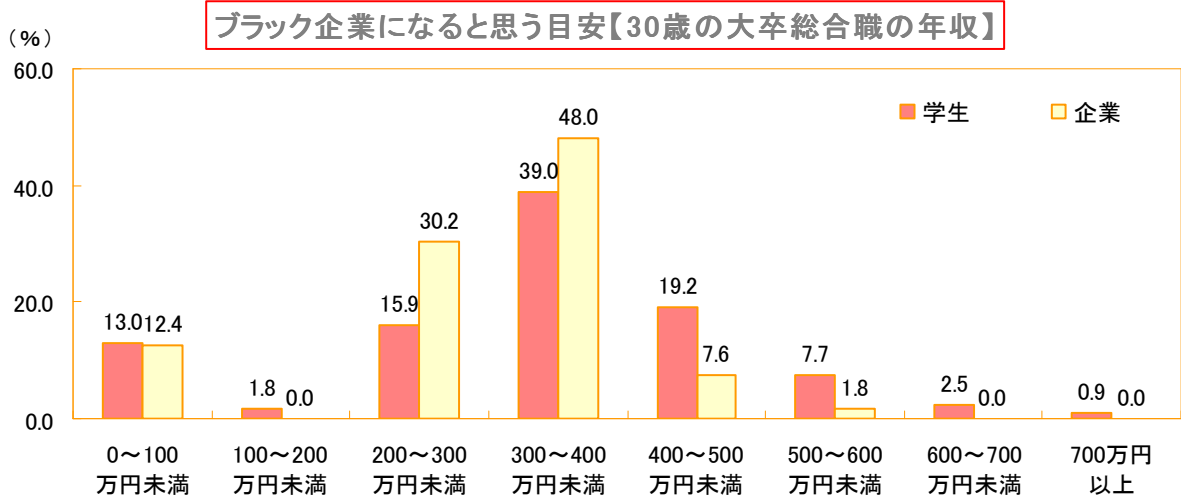
株式会社ディスコ「2015年度日経就職ナビ学生モニター調査結果」(2014年1月発行)

図表3



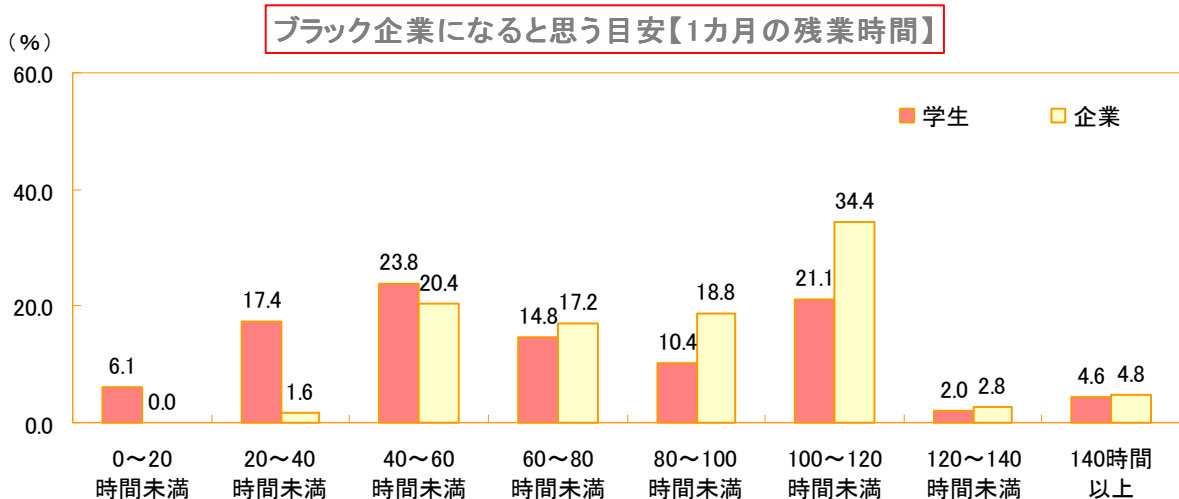
資料出所：株式会社ディスコ「採用活動に関する企業調査」（2014年2月調査）  
株式会社ディスコ「2015年度日経就職ナビ学生モニター調査結果」（2014年1月発行）

図表4



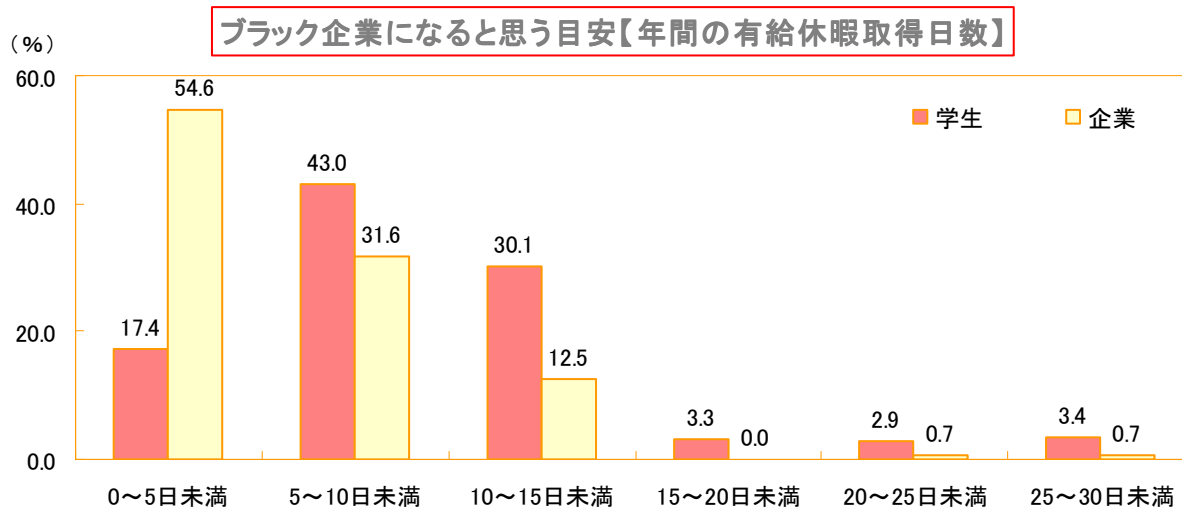
資料出所：株式会社ディスコ「採用活動に関する企業調査」（2014年2月調査）  
株式会社ディスコ「2015年度日経就職ナビ学生モニター調査結果」（2014年1月発行）

図表5



資料出所：株式会社ディスコ「採用活動に関する企業調査」（2014年2月調査）  
株式会社ディスコ「2015年度日経就職ナビ学生モニター調査結果」（2014年1月発行）

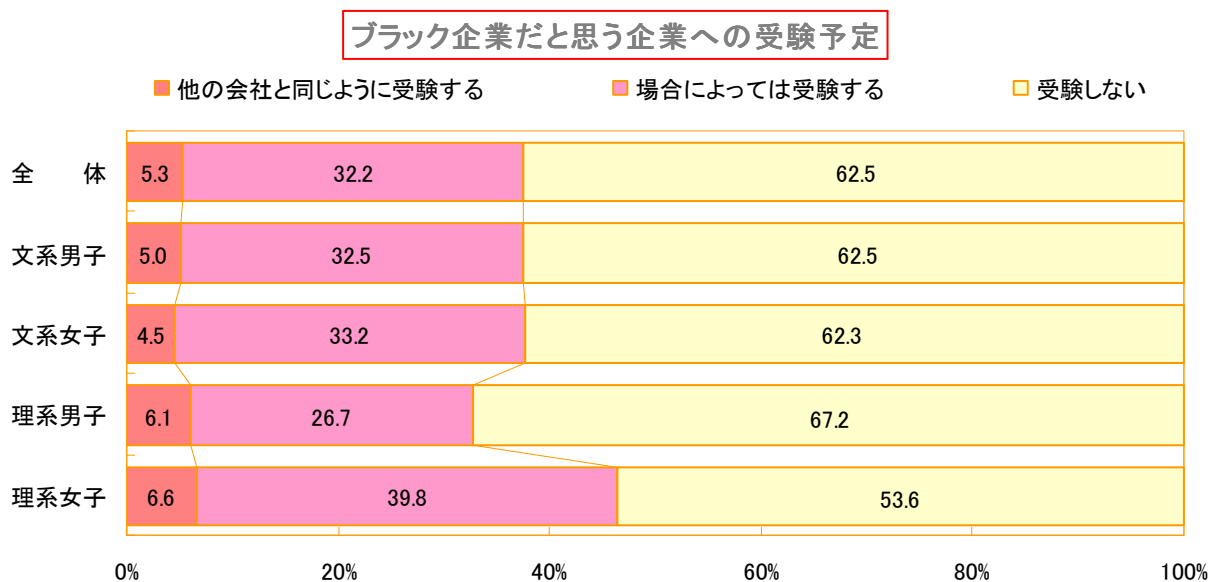
図表6



資料出所：株式会社ディスコ「採用活動に関する企業調査」（2014年2月調査）

株式会社ディスコ「2015年度日経就職ナビ学生モニター調査結果」（2014年1月発行）

図表7-①



資料出所：株式会社ディスコ「2015年度日経就職ナビ学生モニター調査結果」（2014年1月発行）

図表 7-②

《学生コメント》

■「他の企業と同じように受ける」理由

- 実際に社員に会って話をしてみないと本当にブラック企業なのかわからないから。 <文系女子>
- どの企業も何かしらの巷で言われるブラック的側面があると思う。気にしていたら企業選びの選択肢が減ってしまう。 <文系男子>
- 面接やグループワークなどの練習になると思うから。 <理系女子>

■「場合によっては受ける」理由

- どこも就職先が決まらなかったら仕方なく。 <文系男子>
- 持ち駒は多いほうが良いから。 <文系女子>
- ブラックでないと思う企業を優先して就職活動を進めるつもりだが、ブラックだと思う企業についても話を聞いたりして魅力を感じたりすることがあれば受験するかもしれない。 <文系男子>
- 覚悟の上で就職したいと思った場合、受ける。 <理系男子>

■「受けない」理由

- 自分がブラック企業だと思っている企業に就職しても、満足に仕事はできないと思うから。 <文系男子>
- いくらやりがいのある仕事でも、賃金に見合わない労働環境の中では働く理由が見失われそうな気がするため。 <理系男子>
- ブラック企業に入社することにより、人生を破綻させたくはないからです。 <文系女子>

資料出所：株式会社ディスコ「2015年度日経就職ナビ学生モニター調査結果」（2014年1月発行）

図表 7-③

《企業コメント》

■ブラック企業の問題に関する採用担当者の意見

- マスメディアがブラック企業について過剰に煽り立てているため、就活生は疑心暗鬼になって企業を見つめていると思います。 <建設・住宅・不動産/1,000~4,999人>
- インターネットの口コミサイトなどでしっかりと情報収集し、会社の良し悪しを確認してから就職先を決めて欲しいと思います。 <サービス業/300~999人>
- インターネットの情報だけで判断するのではなく、実際に足を運んで自分の目で見て「ブラック企業」であるかの判断をして欲しい。 <自動車・輸送用機器/300~999人>
- ネットや友人からの情報で「あそこはブラック企業だ」と決めつける学生は、恐らくどんないい会社に入っても、不平不満を言う学生である。 <商社/300~999人>
- 厳しい＝ブラックという風潮には疑問を感じるが、実態を外部から把握するのは正直難しいのもまた事実だと思う。 <建設・住宅・不動産/300~999人>
- 基本は法令順守・コンプライアンスだと思う。労働条件の違いは、各種法令の範囲内であれば、当然存在してしかるべきであり、過酷な労働（残業時間の多さや有給休暇の取りづらさ等）や人間関係の悪さだけにスポットをあてるのは疑問を感じる。 <素材・化学/300~999人>
- ブラック企業と言われる企業の中でも、活躍し、やりがいを感じ、目標に向かって頑張っている方は多くいる。 <スーパー・コンビニエンス/~299人>
- ブラックは嫌だという前に自分は何がしたいか、どんな道で人生を歩んでいきたいかを考えるべき！ <水産・食品/300~999人>
- 学生のブラック企業に対するイメージを払拭するためにも、入社後の仕事内容や、勤務状況など、明確にするべきだと思う。 <エンターテインメント/300~999人>
- 処遇面や評価制度については、入社意思を確定するまでに調べておく、もしくは人事部門に確認すべき。 <商社/5,000人以上>

(※人数は従業員数)

資料出所：株式会社ディスコ「採用活動に関する企業調査」（2014年2月調査）